



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

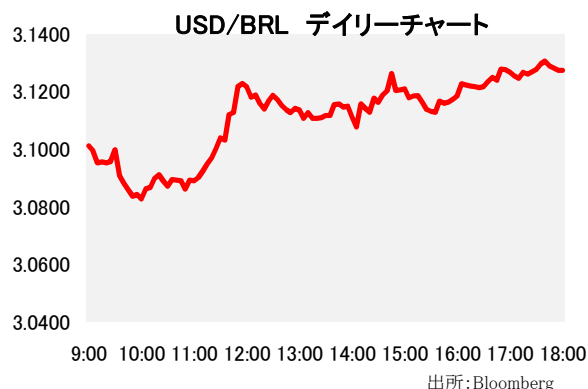
1. マーケット・レート

			6月19日	6月22日	6月23日	6月24日	6月25日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0970	3.0800	3.0750	3.0980	3.1270	+0.0290
	BRL/JPY	Spot	39.60	40.03	40.29	39.98	39.53	-0.45
	EUR/USD	Spot	1.1352	1.1337	1.1162	1.1207	1.1204	-0.0003
	USD/JPY	Spot	122.71	123.38	123.94	123.87	123.64	-0.23
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.219	14.167	14.123	14.229	14.296	+0.068
	Future	1Year(p.a.)	14.317	14.229	14.162	14.276	14.346	+0.070
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.463	1.452	1.453	1.535	1.501	-0.034
	USD	1Year(p.a.)	1.854	1.842	1.894	1.937	1.922	-0.015
株式	Bovespa指数		53,749	53,864	53,772	53,843	53,176	-667
CDS	CDS Brazil 5y		240.83	249.00	248.85	255.83	258.10	+2.28
商品	CRB指数		222.127	223.232	224.357	224.042	224.346	+0.30

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

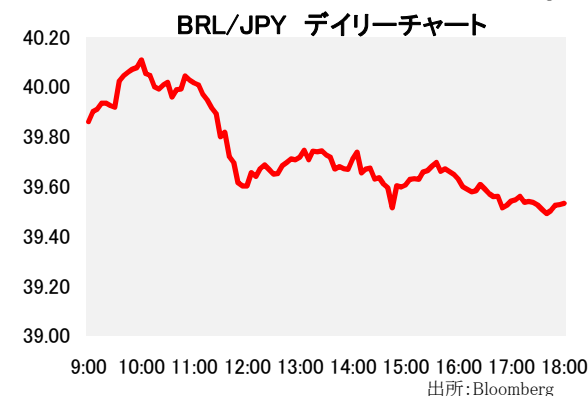
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.51%	0.54%	0.54%
失業率	6.6%	6.7%	6.4%
税収	93050M	91500M	109241M
中央政府財政収支	-7.8B	-8.1B	-10.1B
(米)個人所得	0.5%	0.5%	0.5%
(米)個人支出	0.7%	0.9%	0.1%
(米)新規失業保険申請件数	273K	271K	268K



3. 要人コメント

アワズ伯中銀理事	中銀の目標はインフレ率を4.5%まで持って行くことであり、金融政策においては引き続き警戒を維持して行く。
----------	------------------------------------------------------



4. トピックス

- 本日の為替相場は3.0970で寄り付いた。朝方に発表された伯経済指標は軒並み予想より弱かったがマーケットの反応は薄かった。次いで発表された米国の個人所得、個人支出は予想よりやや強く、ドル買いが見られたがこちらも反応は限定的となった。その後、ギリシャの交渉が膠着していることを受けて米国株式市場が軟調に転じると、ドル売りの動きが見られ、レアルは高値となる3.0820をつけた。しかし、ルラ前大統領の逮捕を未然に防ぐ申し立てが提出されたとの新聞報道を受けて、前大統領が汚職に関与しているとの思惑が広がり、ボブスバ指数とレアルが急落した。その後、検察当局はルラ前大統領が捜査対象でないことを明らかにしたが、レアルの下落は止まらず、安値となる3.1310を示現し、3.1270でクローズした。
- ギリシャの救済をめぐる交渉では、ユーロ圏財務相会合では合意に至らず、議論は27日に再開される予定。独シヨイブレ財務相がギリシャ情勢は後退したと発言するなど予断を許さない状況だが、市場では楽観論も目立つ。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。